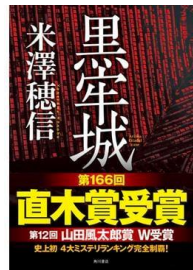


新着案内

NO. 5
2022年3月
伊丹西高校図書館



『黒牢城 Arioka Citadel case』 (米沢 穂信)

【第12回山田風太郎賞】【第166回直木賞受賞】
織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠もった荒木村重は難事件に翻弄される。村重は、土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか。『カドブンノベル』他掲載に加筆修正。

『塞王の楯』(今村 翔吾)【第166回直木賞受賞】

「最強の楯」と「至高の矛」の対決を描く、究極の戦国小説。大軍に囲まれ絶体絶命の大津城を舞台に、宿命の対決が幕を開ける。秀吉が病死し、戦乱の気配が近づく中、匡介は京極高次(きょうごくたかつぐ)より大津城の石垣の改修を任される。また、そこを攻めようとしている毛利元康は、国友衆(くにともしゅう)に鉄砲作りを依頼する。



『ブラックボックス』(砂川 文次) 【第166回芥川賞受賞】

ずっと遠くに行きたかった。今も行きたいと思っている。自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。自転車便のメッセンジャー、サクマは都内を今日もひた走る。『群像』掲載を単行本化。

『Schoolgirl』(九段 理江)

「小説なんて現実世界の敵」と断じる社会派 YouTuber の14歳の娘。そんな彼女の最新投稿は、なぜか太宰治の「女生徒」について。

第166回芥川賞候補作となった『文學界』掲載の表題作ほか、「悪い音楽」を収録。



『皆のあらばしり』(乗代 雄介)

高校の歴史研究部に所属するぼくは、ある日皆川城址で中年男に出会う。男は、ぼくが入手した旧家の蔵書目録を奪い取った。うさん臭さを警戒しつつ、ぼくは男の博識に惹かれていく。

第166回芥川賞候補作

『同志少女よ、敵を撃て』(逢坂 冬馬)

【第11回アガサ・クリスティ賞大賞】
独ゾ戦が激化する1942年、母をドイツ軍に惨殺され、赤軍の女性兵士に救われた少女セラフィマは、復讐のため、訓練学校で一流の狙撃兵になることを決意する。訓練を重ねた彼女は、やがてスターリングラードの前線へ赴く。

第166回 直木賞候補作



『李王家の縁談』(林 真理子)

いつの時代も、高貴な方々の結婚問題はむずかしい。梨本宮伊都子妃は、娘・方子女王の結婚相手探しに奔走していた。方子女王がみじめな思いをしないように、一刻も早く、良縁を見つけてやらねば。梨本宮伊都子妃が見つけた思いもかけない選択とは？ 皇族華族の内面を正確に描ききった〈結婚〉宮廷絵巻。

『愚かな薔薇』(恩田 陸)

夏が近づく季節、母方の故郷・磐座で行われる長期キャンプに参加することになった奈智。それは、「虚ろ舟乗り」の適性を見極めるためのものだった。山間の夏祭りの中で少年や少女が変化していく。進化なのか？ 人類はどこへ向かうのか？ 巡る星々。過去と未来。愛、愛はどこへ行くのか？ 美しくもおぞましい吸血鬼SF。



『我が友、スミス』(石田 夏穂)

前代未聞の筋トレ小説、誕生！「別の生き物になりたい」。筋トレに励む会社員・U野は、Gジムで自己流のトレーニングをしていたところ、ボディ・ビル大会への出場を勧められ、本格的な筋トレと食事管理を始める。しかし、大会で結果を残すためには筋肉のみならず「女らしさ」も鍛えなければならなかった。第166回 芥川賞候補作

『新しい星』(彩瀬 まる)

「普通」の人生を謳歌していたはずの4人に訪れる、思いがけない転機。コロナ時代の「普通」に揺れる、ある4人の男女のリアル。愛するものの喪失と再生を描く8つの物語。

第166回直木賞候補作。



『自分の声をチカラにする』(ウォルピスカーター)

「声を磨けば人生は変わる」。動画の総再生回数3億回超！人気歌手・ウォルピスカーター初著書。独学で1オクターブ半の音域を上げた高音のスペシャリストによる、声の仕組みと磨き方を綴ったエッセイ。歌が上手になりたい人や、人とコミュニケーションを取るのが苦手な人にぴったりな一冊。

『ドクター・ホワイト 1 千里眼のカルテ』 (樹林 伸)

編集者の狩岡は、早朝の公園で白衣のみを纏った謎の美少女・白夜と出会う。狩岡の知人の病院に連れられた彼女は、そこで見過ごされていた数多くの誤診を次々に指摘する。やがて白夜は病院の診断協議チームに抜擢される。



『劇場版呪術廻戦0ノベライズ』 (芥見 下々)

「呪い」となった幼なじみ・里香に憑かれ苦しむ憂太の前に現れた、最強の呪術師・五条悟。五条は憂太を東京都立呪術高等専門学校へと導く。2021年12月公開映画のノベライズ。

『オン・ザ・プラネット』(島口 大樹)

同じ車に乗り込んだばかり4人は、映画を撮るために鳥取砂丘を目指す。記憶すること、思い出すこと、未来に向かって過去をみつけ直すこと。現実と虚構の別を越えて、新しい世界と出会う旅。第166回芥川賞候補作。



『ミステリと言う勿れ 10』(田村 由美)

10巻は青砥編クライマックス！娘を誘拐された刑事・青砥と行動を共にすることになった整。しかし事件は、8年前に青砥が冤罪を起こした未解決事件へと繋がってゆく。

『ちはやふる48』(末次 由紀)『弱虫ペダル76』(渡辺 航)

『丸の内就職したら、幽霊物件担当でした。11』(竹村 優希)

『Re:ゼロから始める異世界生活28』(長月 達平)

※ 皆さんからのリクエストを受け付けています！

新着案内

NO. 5
2022年3月
伊丹西高校図書館

～社会科学～

『31cm ヘアドネーションの今を伝え、未来につなぐ』(Japan Hair Donation & Charity)

寄附された髪の毛から作ったウィッグを、何らかの事情により髪に悩みを持つ子どもたちに無償で提供する活動「ヘアドネーション」。ヘアドネーションに関わる16名のインタビュー。「31cmの理由」「ウィッグができるまで」など、ヘアドネーションのことを深く知ることができる9つのコラムも収録。



『考えたことある？性的同意 知らないってダメかも』(ピート・ワリス著/上田 勢子訳)

学校の帰り道、「新生児がレイプされた」と聞いた女子グループ。同意があったのか、同意とは何かを話していると、男子グループも加わって互いの勘違いが判明。若者が性的同意を知るためのコミック。巻末に「考えるポイント」なども掲載。



『未来の地図帳 人口減少日本で各地に起きること』(河合 雅司)

人口減少が進む日本。これからいよいよ地域差が際立ち、このまま47都道府県を維持することは難しくなってくる。人口減少社会の実情を明らかにし、厳しい未来を変えるために、私たちが成し遂げるべきことを提案する。



～自然科学～

『解きたくなる数学』(佐藤 雅彦)

「ピタゴラスイッチ」制作メンバーが作った、論理的思考が身につく数学問題集。「鳩の巣原理」「三角不等式」「数学的帰納法」などを魅力的な写真とグラフィックで表現した、全23問を収録する。数学が苦手な人も得意な人も、魅力的な写真とグラフィックで表現された問題で、論理の組み立てを学ぶ。考える楽しさを求めるすべての方へ。



『ゼロからつくる科学文明 タイムトラベラーのためのサバイバルガイド』

(ライアン・ノース著/吉田三知世 訳)
「大昔から現代に戻ることができなくなったタイムトラベラー」に向けて、ゼロから文明を再構築する方法をガイド。測定単位、役に立つ植物、薬、音楽など、あらゆるモノの発明方法を紹介します。周期表、三角関数表等も掲載。



『最強脳 『スマホ脳』ハンセン先生の特別授業』(アンデシュ・ハンセン著/久山 葉子訳)

運動は単なるスポーツではなく脳をレベルアップさせる手段だった。運動が子供や若者の脳にどのような影響を与えるかについて、科学研究に基づいて解説する。教育大国スウェーデンの親子で読む脳力強化バイブル。



～技術・産業～

『さばの缶づめ、宇宙へいく 鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち』(小坂 康之)

宇宙食さば缶の開発はどのように始まり、幾多の困難を乗り越え、JAXAの正式認証を勝ち得て、宇宙に飛ばすことができたのか。福井県立若狭高校の生徒と、彼らの頑張りに引っ張られた大人たちが織り成したドラマを描く。



『図解でわかる14歳から知る 食べ物と人類の1万年史』(インフォビジュアル研究所)

歴史上の重大事件も、地球規模の危機も、「食えること」が発火点だった！食べ物とその欲望の歴史から、食のイノベーション、食の安全を目指す世界の動きに逆行する日本の政策までを、カラー図版を用いてわかりやすく解説する。



『世界を変える100の技術 2030年を予測』(日経 BP 社)

2030年をテクノロジーから予測！このディープな技術が面白い。日経の専門誌編集長、ラボ所長50人が期待の技術を厳選。IT、エネルギー、交通、医療、金融、流通まで幅広く、わかりやすく解説。



～その他～

『今を生きるあなたへ』(瀬戸内 寂聴)

「この世に変わらないものなどない。苦しみや悲しみもいつかは変化する」「あの世」があるかどうか分からないが、あると思ったほうが楽しい。世を去る3カ月前に瀬戸内寂聴が語った、人生の真理。今を生きるすべての人へ寂聴先生が最期に残したかったメッセージとは。



『いつでも君のそばにいる 葉っぱ切り絵コレクション 小さな優しい世界』(リト@葉っぱ切り絵)

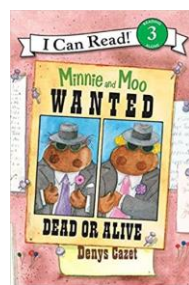
1枚1枚が絵本作品のような葉っぱ切り絵の作品集。SNSで注目を集めた葉っぱ切り絵の写真に、書き下ろしストーリーを添えて紹介する。葉っぱ切り絵メソッド、Q&Aも収録。



～キミも英語多読に挑戦しよう！～

★多読とは？

やさしすぎるくらいの本から始めて、読む楽しさを味わいながら、とにかくたくさん本を読むことで、英文が読めるようになります。ゆっくりでもいいので、すこしずつ始めていきましょう。



『Minnie and Moo: Wanted Dead or Alive』(I Can Read Level 3) (Denys Cazet)

When Minnie and Moo are mistaken for bank robbers, will they escape the long arm of the law?



『Shazam! Becoming Shazam』(I Can Read Level 3) (Alexandra West)

Before he became Shazam, he was a street-wise fourteen-year-old foster kid from Philadelphia named Billy Batson. Discover how Billy met his destiny head on to become one of the greatest super heroes of all time: Shazam!